

平成28年度 学校評価重点目標及び評価指標

珠洲市立飯田小学校

本年度重点目標		評価指標	判定基準
学びが楽しい学校づくり 基礎・基本の定着と学力向上	【学びが楽しい学校づくり】 体験活動や学び合いを充実させ、学習への意欲の向上と自己肯定感を高める。	(児童アンケート) 「学校で学ぶことは、楽しいですか。」 ア 楽しい イ だいたい楽しい ウ あまり楽しくない エ 楽しくない (保護者アンケート) 「子どもは学校へ意欲的に登校していますか。」 ア 意欲的に登校している。イ おおむね意欲的に登校している。 ウ あまり意欲的ではない。 エ 意欲的ではない。	児童アンケート・保護者アンケートともに A…アが90%以上 B…ア+イが90%以上 C…ア+イが80%以上 D…それ以下
	【主体的に課題解決する児童の育成】 (学校研究) 主体的に学び、課題解決へとつなげることができる児童を育成する。	(児童アンケート) 「単元で学んだことを、他の課題に生かすことができましたか。」 ア できた イ だいたいできた ウ あまりできなかった エ できなかった (教職員アンケート) 「単元の中で、児童は、課題を見つけて日記や自主学習ノートに書いていましたか。」 ア 書いていた イ 書いていなかった	児童アンケート・保護者アンケート A (児) ア+イが90%以上 (教) アが90%以上 B (児) ア+イが80%以上 (教) アが80%以上 C (児) ア+イが70%以上 (教) アが70%以上 D それ以下
	【学力向上の基盤づくり】 考えを整理したり、まとめたりする力を育成する。	(児童のノート) 思考の道具として、ノートに思考ツールを使って書いている。 ア 100% イ 85% ウ 70% エ 70%以下	A…ア B…イ C…ウ D…エ
	【家庭学習の確立】 保護者と連携し、子どもたちの学習習慣を確立する。	(家庭学習調査結果) バランスアップカードをもとにした、家庭学習の目標(低学年20分・中学年40分・高学年60分以上)達成者数 ア 80%以上 イ 70%以上 ウ 60%以上 エ 60%未満	A…ア B…イ C…ウ D…エ

健康で心豊かな
人間性の育成

【基本的生活習慣の確立】 保護者と連携し、あいさつと返事が しっかりできる児童を育成する。	(児童アンケート) 「自ら進んで、挨拶をすることができていますか。」 ア できる イ だいたいできる ウ あまりできない エ できない (保護者アンケート) 「児童は挨拶や返事ができていると思いますか。」 ア できている イ できている ウ あまりできていない エ できていない	児童アンケート・ 保護者アンケートで アとイの合計が A…児95%以上かつ保90%以上 B…児90%以上かつ保85%以上 C…児85%以上かつ保80%以上 D…それ以下
【道徳教育の充実】 自分を見つめ相手の立場を考え、仲良 く助け合う児童を育成する。 (道徳の授業公開とゲストティーチャー を活用した授業を1回以上)	(児童アンケート) 「人が困っているときは、進んで助けている。」 ア そう思う イ どちらかと言えばそう思う ウ どちらかと言えばそう思わない エ そう思わない (職員アンケート) 「道徳の授業公開・G Tを活用した授業を行ったか。」 ア どちらも行った イ 行っていない	児童・職員アンケートで A…児アが90%以上かつ職アが100% B…児ア+イが90%以上かつ職アが 100% C…児ア+イが80%以上かつ職アが 80%以上 D…それ以下
【規範意識を高める】 社会的なルールやきまりを守る意識を高 め、いじめや暴力行為のない学校をつく る。	(達成目標) (保護者アンケート) 「学校は、いじめや暴力行為のない学校づくりに努めていると 思いますか。」 ア そう思う イ どちらかといえばそう思う ウ あまり思わない エ 思わない (児童アンケート) 「友達の悪口を言わなかった。」 ア できた イ どちらかといえばできた ウ あまりできなかった エ できなかった	児童アンケート・ 保護者アンケートともに A…ア+イが95%以上 B…ア+イが85%以上 C…ア+イが65%以上 D…それ以下
【読書活動・図書館利用の充実】 図書館利用を促し読書量を増やすとと もに、読書の楽しさを感じさせて豊かな 感性を育む。	年間、本を借りて読んだ冊数や頁数 ア 150冊・10000頁 イ 120冊・7000頁 ウ 100冊・5000頁 エ 100冊・5000頁未満 (本の貸し出しの結果…低学年冊数、高学年頁数)	A…アが80%以上 B…アとイが80%以上 C…アとイとウが80%以上 D…それ以下
【体力の向上】 縄跳びの時間跳びで、児童の「動きを継 続する力」の向上を図る。	(達成目標) 縄跳び時間跳びの記録がアップした人数の割合 (低学年4分間 中学年5分間 高学年6分間) ア 90%以上 イ 85%以上 ウ 85%以上 エ 75%以上	A・・・ア B・・・イ C・・・ウ D・・・エ
【特別支援教育の充実】 個に応じた配慮に加え、ユニバーサル デザインを意識した、誰にとっても支援 となる授業の工夫を図る。	(教職員アンケート) シンプルで視覚的に分かりやすい提示ができたか。 ア できた イ だいたいできた ウ あまりできなかった エ できなかった	A…アが80%以上 B…ア+イが80%以上 C…ア+イが70%以上 D…それ以下

特別支援教育
の
充実

保健・安全管理の充実	【危機管理の充実】 避難訓練・安全教育を体験的に実施したり、外部機関との連携を図る。	(訓練後の職員アンケート) ①事前に計画をよく読んだ ②計画に従って担当活動を迅速に行った ③想定以上のことを考えて行動した ④児童は体験を通して学んでいた ア：よくできた イ：できた ウ：できなかった	アンケート集計結果が A…ア+イ=100% B…ア+イ=95% C…ア+イ=90% D…ア+イ=90%未満
	【自己健康管理能力の向上】 めあてを持って、自らよりよい生活習慣を実践しようとする態度を育成する。	(バランスアップカードの結果) 早起きのめあてが守られた。(保護者とめあてを相談) ア 70%以上 イ 60%以上 ウ 50%以上 エ 50%未満	A…ア B…イ C…ウ D…エ
	【食育の充実】 バランスよく栄養を取るために、好き嫌いをしないで毎日の給食を残さずに食べる。	(児童アンケート) 給食で、嫌いなものがあったても、残さずに食べることができた。 ア できた イ だいたいできた ウ あまりできなかった エ できなかった	A…アが90%以上 B…ア+イが90%以上 C…ア+イが80%以上 D…それ以下
地域・学校と家庭の連携	【家庭・地域との連携協力体制の確立】 学校便りや学級通信、Webページによる情報発信を積極的に行い、学校の経営方針や教育内容を伝え、家庭と地域の教育力を生かした学校づくりを行う。	(保護者アンケート) 学校は教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている。 ア：十分伝えている イ：伝えている ウ：やや不十分である エ：不十分である オ：わからない	A…ア+イ=95%以上 B…ア+イ=90%以上 C…ア+イ=80%以上 D…ア+イ=80%未満
環境整備	【学習環境の整備・校内環境美化】 授業で教材備品を有効に活用するため、教材備品の状態を把握し、各教室等の整理整頓を行い、適正な環境を保つ。	(職員アンケート) 全職員で教室等の点検や備品点検を行い、校内の整理整頓を進めることができたか。 (校舎外と体育館・1F・2F・3Fの4か所に於いて) ア：3か所以上 イ：2か所 ウ：1か所 エ：どこも不十分	A…ア B…イ C…ウ D…エ

評価： A 達成 B おおむね達成 C・D 改善が必要

